

わが村は美しく

八雲町編

第十回 奨励賞

特定非営利活動法人 やくも元気村

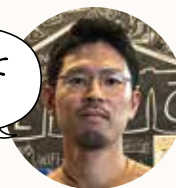


カフェ・ゲストハウス「SENTO」の外観。のれんの奥に銭湯をリノベーションしたカフェがある。
左手奥がゲストハウスの入り口。



「SENTO」の内部。
浴槽をそのまま利用したテーブル席。

お話をしてくれた人



やくも元気村事務局長・
古民家ゲストハウス「SENTO」代表
赤井義太さん



誰もが幸せに過ごせる町にしたい。
B型事業所からスタートして
カフェ・ゲストハウスなど多角的に運営

目の前にある地域課題を
一つ解決することを使命に

八雲町は、渡島半島のほぼ中央に位置し、太平洋と日本海、二つの海に挟まれた二海郡に唯一属している。豊富な海産物をはじめ酪農・農業などが盛んで、人口は二万五〇〇〇人弱の町である。

ここでさまざまな活動をしているのが特定非営利活動法人やくも元気村だ。理事長の赤井義範さんは話す。

「不登校の子どものためのフリースクールの開設や、若い人が暮らせる住み良い地域づくりを考えていたとき、八雲養護学校を卒業しても働く場所がないという現状に気がつきました。そこで活動をするための母体となるNPO法人の設立に行き着いたのです」。

始まりは二〇二二年四月。B型事業所 共生サロン「八雲シンフォニー」を開設して喫茶店運営を始めた。

B型支援事業所として、町内農家での農作業や農産物の宅配販売、漁具修繕作業を請け負ったり、国内製薬会社より指導を受けて薬草の栽培から出荷を行ったり、障がい者が自立できるよう活動の場を広げている。年に二回、地域との交流イベントも開催している。

喫茶室の奥の作業スペースでは、利用者が刺し子のふきんやキーホルダーなどを手作り。これを販売して収入を得ている。二〇二六年にはグループホームを開設し、福祉事業を拡充した。「明確な将来ビジョンがあつて始めたわけではなく、地域が抱える社会課題を解決しようとしたら、活動の幅が広がっていくという感じですね。八雲を元気

第10回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

八雲町へは、JR函館本線八雲駅で下車。「SENTO」へは徒歩10分程度。カフェ水曜～日曜の営業。無料Wi-Fiを完備していて、地元の情報も取得できる。ゲストハウスの詳しい情報は、やくも元気村の公式ホームページを確認ください。

お問い合わせ／☎0137-62-4300



4
地元の酪農家が生乳を使ったオリジナルプリン。
B型事業所の利用者が製造している。



3
地域の人との交流を目的とした「シンフォニー祭り」。運営には地域ボランティアの協力もあり大賑わい。



8
分厚い切り身の鮭フライ。八雲町が海面養殖している脂ののった「二海サーモン」を使用。



7
パン工房「げんき」の店内。「八雲シンフォニー」利用者の働く場となっている。



6
「八雲シンフォニー」では、刺し子、ホタテのキーホルダーなどを製作し「SENTO」などで販売。



5
B型事業所を舞台に開催されている「シンフォニー祭り」でダンスも披露。

にしたいという思いは変わっていません」と赤井理事長は語った。
二〇一七年に開いたパン工房では、町内農家が生産するサツマイモや卵を使用した加工品を販売している。

銭湯をカフェとゲストハウスに 豊かな発想で外国人も集う

やくも元気村の活動として最も注目したのは、二〇一八年に開設した古民家カフェとゲストハウス「SENTO」。

元々銭湯だった建物と土地を購入してリノベーションし、カフェ&レストランにした。NPO法人の事務局長で、「SENTO」代表の赤井義大^{あかいよしひろ}さんは、ニュージーランドやカナダへの留学後に八雲町に戻り、将来構想を考えていた時、漁業で二時的な人手不足の解決策として、他の地域から働き手を集めることができたかと、地域特化型人材派遣『いなかクリエイト』を立ち上げました。

さらに移住希望者に対応す

る窓口機能も拡充し、農漁業体験を通じて交流できる体験プログラムも構築。留学の経験も生かして、世界中の人が安心して長期滞在できる、その拠点として『SENTO』をオープン。グリーンツーリズムにも取り組んでいます。

カフェは、浴槽をそのまま活用したテーブル席が異彩を放っていて、天井も銭湯の佇まいそのままだった。

ランチメニューは、特産の軟白ねぎ井や二海サーモンを使った鮭フライなど、季節の地場のもので使い特色を出している。和の雰囲気を感じられるゲストハウスは、シェアハウスの様相でコミュニティの場になっている。取材した日、学校を終えた子どもたちがカフェを会場に開かれていた「やくもの寺子屋」で探求学習を行っていた。

誰かが幸せな人生を過ごせる町、世界中から訪れる人によさしい町に。やくも元気村は、いろいろな人々に居場所を提供しながら、地域の元気の源として未来を見つめていた。

①



「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311 (内線5685)

